

# 花壇並に花壇用草花年中行事

—(十)月—

日比谷公園花壇係 富 本 光 郎

## 秋植球根類の植付

六月頃に掘り上げて貯藏しておいた春咲球根類は今月初めよりおそくも來月初旬迄位に植付ける様にしなければならぬ。

チュリツブ、ヒヤシンス等此頃は可成りの小兒でも大抵その名前を知つてゐる位に普及されて最も一般的のものであり又極く作り易いものであるから何れの家庭にも之等の幾株かを是非植付けておき度いものである。

球根類は殆ど大部分移植を嫌ふものであるから花壇に直接植込まなければならぬので豫めよく土壤を深耕し、元肥として少し深めに堆肥、骨粉、過磷酸石灰、草木灰等の混合したものを施しておく。

土壤は砂質壤土を最適としてゐるが他のものとは異り重い土でも軽い土でも、總て相當に開花してくれるものである。

植込の深さはその種類、球根の大小等によつて夫々異なる譯であるが標準としては球根の高さの三倍位の深さにすればよい。

植込の間隔はこれは種類によつて可成違ふものであるが春植球根のダリアカンナ等とは異り、一般に丈低くあまり横に擴がらないものであるから、これも、球根の大小によつて三寸位から六寸位の見當にしておけば大した間違はない。

球根を購入する場合には大體としてどの種類も球の大きいものがよく、それからなるべく重く、肉質のしまつてい



1. 一重早咲種

クラモイシー・ブリアント(鮮紅) ピンク・ピウテ

ト・ピウテ(白)

ライジング・サン

(黄) カイザー

ス・クローン(濃

紅綠黄)

2. 八重早咲種

バーバーク(鮮紅)

アンナ・ルーズ

(桃) コーロン・

ドール(濃黄)

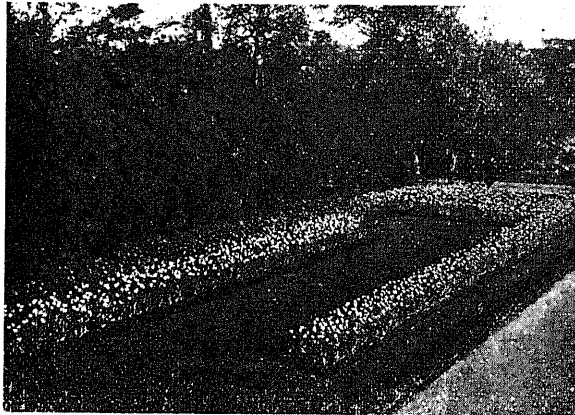
ターバン・パイオ

レット(紫紅)

ブランシュ・アチ

ープ(白)

3. グローウキン種



(園公谷比日) 壇花の開満ブツリユチンキウーダ

ユーローブ(鮮紅) ブライド・オブ・ハーレム(濃  
紅) プリンス・オブ・ザネザランド(濃桃) ク  
ラ、バツト(桃) ブリユー・エイマフ  
ル(紫) フェリツブ・ドコムミーヌ(黒紅)

4. 五月咲種

イングレス・コム・スカレット(鮮紅)

イングレス・コムエロー(純黄) イング

レス・コムピンク(藤桃) ロイヤル・ホ

アイト(白)

春花壇用草花の挿芽

先月下旬より十月中旬迄位はゼラニウム、  
美女櫻、ペゴニア、ランタナ、ペチニヤ、ヘリ  
オトロープ、マガレット、松葉菊、姫松葉菊、  
夏雪草等の挿芽の好期であるが特に花壇植用の  
ものとして大事な美女櫻、ゼラニウム、ペゴニ  
ア、マガレット、姫松葉菊の五種は是非今挿芽  
して用意しておかなければならないもので、二節か三節つ  
けて短かく切り砂まじりの軽い土に挿して半日蔭にしてお

けは直ぐ活着するものである。

根を下してから十日位経つて四寸位の鉢にマガレット、ゼラニウムは一本宛、美女櫻、ベゴニア、姫松葉菊は三位相當の肥料分を含む土を用いて植付けておくので今月初めに挿したものでならば下旬頃か十一月の初めに鉢植とする事が出来る様になる。之等五種のもは宿根草ではあるが冬季寒さに弱い物であるから翌春三月迄はフレーム内で(冷床で十分なのであるが)育て、やらなければならぬ。

### アルターナンセラの霜除

秋花壇に植付けたアルターナンセラは極めて霜に弱いものであるから、出来るだけ長く觀賞する爲に、少し手數ではあるが、今月の終り頃から孤などで夕方霜除をなし、翌朝とり片付けるといふ風にして十一月下旬頃まで保護してやる必要がある。霜除をすると云つても只孤を上から、ぢかに覆ひかけてやるだけで十分なので、これを怠ると烈しい霜などに一朝會ふと眞黒になつて折角の美しい花壇が見る影もなくなつてしまふものであるから、少し面倒でもこれは是非行ひ度いものである。

この作業はよそではあまりやつていない様であるが日比谷公園では毎年これを行つて、そのまゝにしておくと十一月初旬には見られなくなつてしまふ花壇を十一月下旬までよくその美しさを保たしめてゐる。

### 其他の作業

一、先月下旬播種床に播いた秋蒔草花は今月中旬頃には可成伸張して来るから第一回の假植を行ふ。此假植が後れるとひよろしくした苗になつていけないものであるから出来るだけ早く行ふべきである。之等の管理はすべて春蒔草花と同様である。

一、ダリアは今月中下旬頃最も立派な花を持つ時であるからなるべく餘分な腋芽や蕾は常に注意して摘除し精力の浪費を防いでやらなければならない。

一、夏から咲き續けている物や又秋咲の草花、即ち百日草、姫ひまわり、醉蝶花、松葉牡丹、天人菊、翠菊、サルビヤ、トレニア、コスモス、鶏頭等の種子は晴天の日を選んで完熟しているものから怠らず採取し、二三日蔭干にしてよく調製し、冷涼な場所に翌春まで貯藏しておく。